

# おだわらの未来をデザインする

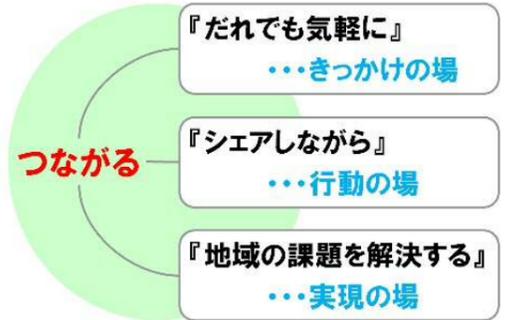
# 新しい市民交流施設 実現ワークショップ レポート

《作成・発行》  
小田原市地域政策課  
平成 27 年 2 月



- 平成27年秋に予定されている新しい市民交流施設のオープンに向け、平成25年度には6回のワークショップを開催し、成果を共有してきました。
- 平成26年度は、施設の実現に向け、7月には「新しい交流センターの使い方について考える」というテーマでオープンスペースを使うために大切にしたいこと、10月には「センターが提供するサービスを考える」というテーマで交流センターではどのような事業を行なってほしいか、様々な立場や年齢の方と話し合ってきました。
- 平成26年度最終のワークショップは、これまで皆さんから出していたご意見を踏まえ、それらを実施する施設の「オープンをどのように迎えるか」をテーマにしました。

## コンセプト



## Step3「オープンをどのように迎えるか」

開催日:平成27年2月1日(日) 会場:小田原市民会館 第6・7会議室  
参加人数:65人(市民60人、スタッフ5人)

このワークショップでは、新しい交流センターのオープンを迎えるに当たり、どのような事業を行ないたいか、何があるとよいか、どんな人がいるといいか、誰に来てほしいかなどを提案していただきました。



## 第1部 交流センターの概要

### ○(仮称)市民活動交流センターについての概要

新しいセンターが「つながる」という基本コンセプトのもとに、小田原市の将来都市像である「市民の力で未来を拓く希望のまち」の実現に向け設置されること、また、前回のワークショップでも話し合った「交流センターの6つの機能」、このセンターの重要部分である「市民活動プラザ」の運用などについて、市担当課から説明。

### ○アイスブレイク「お互いを知ろう」

多くの参加者と触れ合い、緊張をほぐすため、「今までに参加して、楽しかったイベント」について、複数人と話し合った。特に「楽しいこと」が「なぜ楽しかったのか」を意識してもらい、第二部のワークショップにつなげた。



## 第2部 ワorkshop「オープンをどのように迎えるか」

第2部ではワークショップを2回行った。アイスブレイクで出たイベントや、他市の施設のオープニングイベント事例などを参考に、新しい交流センターのオープンについて、まず個人で考え、班のメンバーと意見を共有しながらアイデアをまとめ、一つ一つのオープニング事業案として発表した。

### ワークショップ①

#### ○ステップ1(個人)

オープニングで行ないたい事業やアイデアを各自付箋に書き出した。

#### ○ステップ2(班)

個人で作成した付箋を、解説しながら模造紙に貼り、メンバーと共有した。さらに、出されたアイデアを組み合わせたり、ジャンル別に分けたりし、大まかな事業の形を作成した。



### ワークショップ②

#### ○ステップ1(個人)

休憩中に浮かんだアイデアなどを付箋に書き加えた。

#### ○ステップ2(班)

まとめたアイデアごとに「タイトル」をつけ、何でやりたいのか、何があるとよいか、どんな人が必要か、誰に来てほしいかなどを話し合った。

#### ○ステップ3(班)

発表のための「アイデアシート」をまとめた。



### 発表

各班で話し合った結果を模造紙や「アイデアシート」で発表し、本日の成果を共有した。様々な立場の方が一緒に話し合うことで、興味深いアイデアがたくさん生まれ、オープニングへの期待が高まった。それぞれの班のアイデアは、次コーナーで。

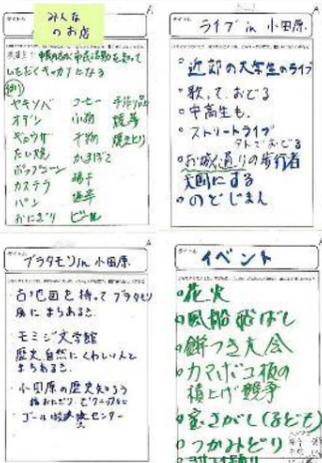


## アイデアシート・模造紙

各班から出されたオープニング事業のタイトルと、各班が作成した「アイデアシート」と「模造紙」を紹介します。全シートを掲載しているため、紙面では詳細が分かりづらいですが、活発に楽しく意見を出し合ったワークショップの雰囲気を感じていただければと思います。どんな内容がしっかり見たい、という方はぜひFacebookをご覧ください。(裏面のURLをご利用ください)

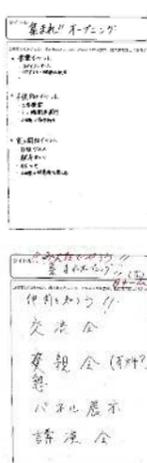
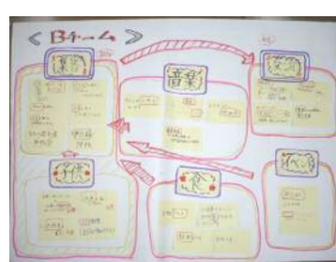
### A班

- プラタモリin小田原
- イベント
- みんなのお店
- ライブin小田原



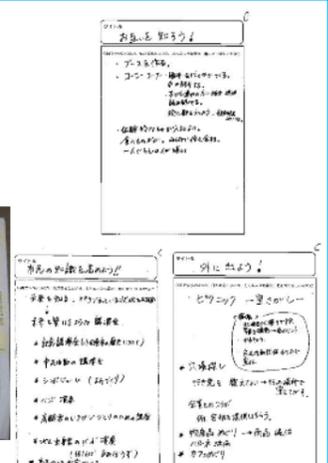
### B班

- 集まれ!!オープニング
- みんなでやろう!!
- “集まれオープニング(II)”



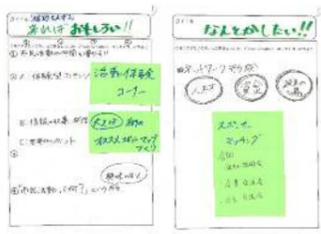
### C班

- 市民の知識を高めよう!!
- 外に出よう!
- お互いを知ろう!

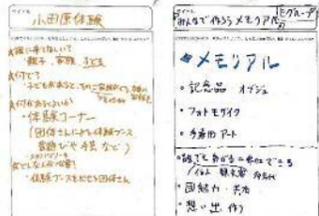


## アイデアシート・模造紙 Part2

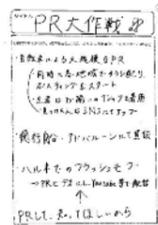
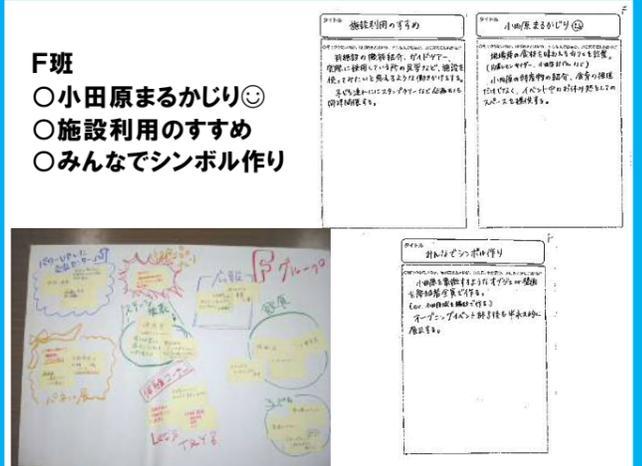
- D班**
- 集客のため
  - オープン前が勝負だ!!
  - 既存団体向け「私を見て!」
  - 裾野を広げる
  - 来ればおもしろい!!
  - なんとかしたい!



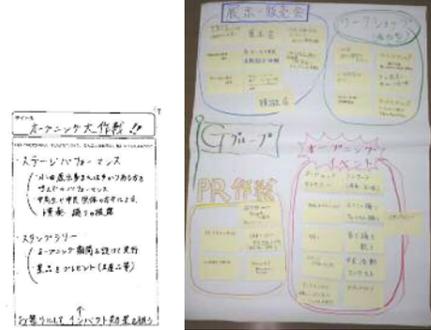
- E班**
- みんなで作ろうメモリアル
  - 小田原体験



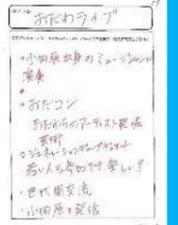
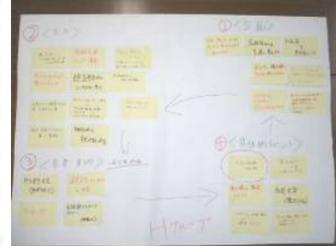
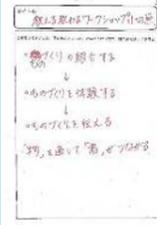
- F班**
- 小田原まるかじり!
  - 施設利用のすすめ
  - みんなでシンボル作り



- G班**
- オープニング大作戦!!
  - 小田原でつながる大作戦!!
  - PR大作戦!!



○参加者の皆さんは、ワークショップ終了後貼り出されたアイデアシートを熱心に読んでくださいました。



- H班**
- 小田原愛の事業
  - おだわりんく
  - 教える教わる
  - ワークショップ小田原
  - おだわりんく

### ワークショップアンケートまとめ(回答:47人、回収率72%)

#### Q1. 本日のワークショップをどのように知りましたか。

・送付したチラシ:17人 ・公共施設にあったチラシ:2人 ・市の広報誌:1人 ・市のホームページ:1人 ・知り合いからの紹介:21人 ・その他:4人

#### Q2. 本日のワークショップにご参加いただいた理由を教えてください。(複数回答あり)

・新しいセンターに興味があった:33人 ・自分(団体)にとって良い経験になる:25人 ・イベント企画に興味があった:8人 ・知り合いに誘われた:6人  
・その他:5人(うまく活用できるスペースになればうれしい、一市民として知ることが大事、市民活動について知るきっかけになりそうだから)

#### Q3. センターのオープンに向けて、どのような形で関わってみたいですか。(複数回答あり)

・オープニングに団体として参加:20人 ・ワークショップへの参加:18人 ・イベント全体の実行や運営:6人 ・事業企画へのアドバイス:6人  
・オープンに向けた各種チラシの配布・宣伝:6人 ・特に考えていない:5人  
・その他:4人(一般市民として参加したい、無業の若者を事前準備などにボランティアとして参加させたい、(事業の)展開内容がわかったら)

**理由(要約):**キャンパス小田原人材バンクの活用/今後の経過が楽しみ/印象に残るオープニングを作りたい/団体としてオープニングに参加

従来から一歩抜け出した活動を/団体の研究成果を周知できる/自分たちの活動を知ってもらいたい

企画することに興味がある、企画の担い手になれる/企画のアイデアがある/実行委員などに若い世代が関われば斬新なアイデアが出る

自分の専門以外に興味がある/もっと拡げたい/引っ越してきたので小田原を知りたい/特に考えていないがきっかけがあれば関わりたい

多くの人に周知したい など

#### Q4. 本日のワークショップやセンターのオープンに向けた取り組みについてのご意見・ご要望、皆さんから出していたアイデアへの提案などがあれば、自由にご記入ください。

##### オープニングについて(抜粋)

- ・今回は若い人の出席も多く、いろいろなアイデアを聞いてよかった。/ただのお祭りではなく、新しい交流センターの目的に合うイベントにすること。
- ・「楽しい」を追求したオープニングにしてほしい。/オープニングで世代・職業を越えた交流を行なうことで、情報の発信につながる。
- ・小田原出身のアーティストにパフォーマンスしてもらおう。/どんなオープニングを迎えるのかワクワクする。
- ・いろいろな人に見てもらえるよう、駅にポスターやチラシを置いてもらえばよい。/いかに集め、知ってもらおうか!その後何をやるか!
- ・オープニングの“長期化”“継続”をぜひ検討してほしい。/ぜひ成功してほしい。

##### センターについて(抜粋)

- ・新しい交流の場となることを楽しみにしている。/利用について興味がある。/オープンからすぐに施設を利用できるよう、予約方法などを周知してほしい。
- ・市民活動、市民の意見が反映される場として行きたい。/センターが新しくなること自体知らない人が多い。もっとアピールしたほうが良い。

##### ワークショップについて(抜粋)

- ・今回は若い人の出席も多く、いろいろなアイデアや意見を聞いてよかった。/新鮮な視点や意見が多く、楽しかった。ぜひ意見を生かしてほしい。
- ・図面だけでは分りづらく、交流センターの模型があるとよかった。/みんなで書けるよう、アイデアシートは大きい紙のほうが良い(使用サイズはA3)

### ワークショップStep3 ~ふりかえり~

・どのグループも、たくさんのすばらしいアイデアを身振り手振りで熱く発表してくださいました。紙にしてしまうとうまく伝わらず、また内容すべてを載せることもできず、とても残念です。Facebookページでは、当日の写真のほかアイデアシートなども掲載しているので、ぜひご覧ください。

・今回は大学生の参加が多く、アンケートでも「様々な年代や立場の方がひとつのテーブルに集まり話したことで、いろいろな刺激を受け楽しかった」といったご意見を多数いただきました。

・私たち地域政策課は、誰でも気軽に利用でき、多様な主体がつながる交流と連携の場となる新しい交流センターを通じて、市民活動の裾野を広げるためにも、オープニング事業で、市民活動に関わっていない、特に興味を持っていない人たちに興味を持ってもらうきっかけを作りたいと考えております。そして、この施設は、自身が抱えている課題を解決できる場であることを体感していただきたいと考えております。多くの人に興味を持ってもらえるようなインパクトのあるオープニング事業を行うために、実行・運営に関わっていただける方々と実行委員会を立ち上げ、このワークショップで皆さんから出されたアイデアをもとに、オープニング事業の具体的な内容を検討する予定です。

### いよいよオープンに向けて

平成26年度、3回にわたり開催した「実現に向けて運営を考えるワークショップ」は今回が最終回となります。ご参加いただいた皆様、このレポートを見てくださった皆様、本当にありがとうございました。

平成27年秋、これまでのワークショップで皆さんと考えてきたことを実現していくセンターが、いよいよオープンします。オープニングの事業やこれからセンターで実施していく事業に、ワークショップをはじめいろいろな形でご提案いただきました、皆様のアイデアやご意見を生かしてまいります。また、これらの事業に、運営やボランティアなどで関わってくださる方を広く募っていく予定です。皆様には、その都度お知らせをさせていただきます。

オープンに向けては、まだまだ皆様の力をお借りしたいと考えております。来年度も引き続きワークショップの開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



Facebook ページはこちらから  
<https://www.facebook.com/workshop100>